

旭川市立正和小学校 学校教育目標「かんがえる子 やさしい子 つよい子」



正和小だより

令和7年
10月31日発行
No. 6

《本年度の重点目標》 自他のよさを認め合い 共に高め合う子どもの育成

学校ホームページ <http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/sewa-els/>

読書習慣をつけるには

校長 石持英世

今月18日、「落ちついて 心をこめて 堂々と」のテーマの下、学習発表会が行われました。子どもたちは、歌、演奏、ダンス、音読など、これまで学習してきたことをベースに発表しました。体育館に響き渡る声、躍動する動きに対し、温かいご声援をいただいたことに感謝申し上げます。

さて、10月27日から11月9日までは「読書週間」となっています。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生を深く味わう力を支える大切な営みです。子どもたちは読書を通じて、頭の中で体験を再現し、新しい知識を身に付け、興味の幅を広げていきます。だからこそ、学習の土台となる「生きる力」を育てるうえで、読書は欠かせない要素なのです。子どもが自分から「読みたい」と感じられるよう、周囲の大人が働きかけることが、何よりも重要であると感じています。

読書には、学力面以外にも多くのよい効果があります。読書により語彙力と読解力が磨かれ、さまざまな表現や場面の理解が深まります。自然と集中力が養われ、長時間の読書にも耐える心と身体のリズムを作ります。読書を続けると、知識が増え、いろいろな出来事への関心が広がります。登場人物の心情を読み取る力は、実生活の人間関係にもよい影響を与え、コミュニケーション能力が高まります。

では、家庭でどうやって読書習慣を身に付けさせるとよいのでしょうか。大切なのは「読ませる」ことを強要せず、自然と読書ができる環境を整えることです。習い事の待ち時間や移動中など、短時間でも読書する環境を作るのもよいのではないのでしょうか。保護者自身が読書を楽しむ姿を見せることも大切です。親が本を手に取り、感想を共有する姿は、子どもに「読書は楽しい」という思いを伝えることにつながります。絵本やマンガ、図鑑といった多様な本を許容することで、入口を広げるのも有効だと思います。

「本は自分で読まず、PDF化して生成AIに読み込む。AIに要約させたり、AIと問答したりして内容を吸収する」…先日ある雑誌に載っていた今の若者の「読書」の現状です。デジタル化の流れは、「読む」という基本的な学びの姿すら変えつつあるそうです。

繰り返しになりますが、私たちが目指すのは「読ませる」ことではなく、子ども自身が自然と本に触れ、読みたいと思える環境をつくることです。秋の夜長、子どもたちと一緒に本の世界を旅する時間を、ご家庭でもぜひ広げてみてください。読書を通じて、子どもたちの想像力と思考力が豊かに育っていくことを心から願っています。

10月21日（火） バスレンタル事業で 1・2年生が旭山動物園へ



生活科の学習で、1・2年生が旭山動物園に出かけました。肌寒い一日でしたが、子どもたちは元気いっぱい活動し、動物とのふれあいを楽しめました。この後は、気が付いたことや感じたことを、絵や文章でまとめていきます！



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

児童質問紙の結果を全国平均と照らして読み解くと、「ICT 機器の活用」や「先生の良さ」を認める回答、「友人と協力して学ぶ実感」などで、肯定的な回答が相対的に高い傾向にあります。一方、「朝食の有無」「自分と違う意見について考えることを楽しむ姿勢」「算数・理科への関心」「授業への質問意欲」といった項目は全国平均と比べて低く、生活リズムや対話の機会、授業展開などの環境要因が影響していると考えられます。

今後は、**保護者の皆様と協力し、「早寝・早起き・朝ご飯」を推進する**とともに、児童の質問を引き出す授業改善を進めるなど、よい点を伸ばしつつ課題にも具体的対策を講じてまいります。

国語科では、漢字の正しい用法や基本的な読解力で全国を上回る傾向が見られました。一方で、伝え合いを伴う話す力や聞く力、図表を読み解いて情報を取り出す力は、全国とほぼ同様、あるいはやや低めの傾向でした。身近な題材には強い反面、図表を基にした抽象的な問いで誤答が増えました。

改善策・・・読み取ったことや考えていること、これから書こうとしていることを図などで表し、整理する作業を授業に取り入れていきます。

算数科では、データの関係を読み取って式に表す能力や小数や分数の扱い、式の構成といった領域で全国を上回る傾向が見られました。一方、平行四辺形の作図手順や図表の解釈を問う問題、小数や分数の基準量の理解を問う問題では、全国を下回りました。

改善策・・・低学年のうちから「何を基にして考えるか」や「何と比べるか」を意識させるなど、学年ごとに身につけるべき基礎基本を確実に定着させていきます。

理科では、「地球」を柱とする領域の理解や電磁石に関する知識が全国を上回りました。全体としては、領域横断的な理解が進んでいます。ただし、直列回路のつなぎ方や花のつくり・受粉、図表と現象の結びつきを問う問題は、全国をやや下回りました。

改善策・・・これまで以上に実験や観察の機会を増やし、顕微鏡の基本操作などの基礎的な力を獲得させるとともに、日常生活と理科の事象を結びつけ、学習を深めていきます。

11月の行事予定

1日	土	
2日	日	
3日	月	文化の日
4日	火	街頭指導（2年） 集会（校長）
5日	水	第8回 職員会議 4～6年5時間 フッ化物洗口
6日	木	研修⑧ 特別日課 市P連新永ブロック研修会（永山小またはオンライン）
7日	金	
8日	土	
9日	日	市P連研究大会
10日	月	●生活リズムチェック 開始
11日	火	
12日	水	後期児童会③ フッ化物洗口
13日	木	研修⑨ 特別日課
14日	金	●生活リズムチェック 終了
15日	土	
16日	日	
17日	月	ALT
18日	火	T街頭指導 放課後学習② 5時間
19日	水	後期児童会④ フッ化物洗口
20日	木	特別日課
21日	金	
22日	土	
23日	日	勤労感謝の日
24日	月	振替休日
25日	火	スクールカウンセラー来校
26日	水	後期クラブ② フッ化物洗口
27日	木	定例交流会⑧（事例研） 特別日課
28日	金	施設点検
29日	土	
30日	日	